

分子 分母のうち、手術当日から数えて4日以内に「運動器リハビリテーション料」が算定された症例数

条件① 計測期間において、様式1の「医療資源を最も投入した傷病」に、以下のいずれかのICDが記載されている退院症例数

| ICD-10 | 病名 |
|--------|-----------------|
| M146 | 神経障害性関節障害 |
| M17\$ | 膝関節症[膝の関節症] |
| M2546 | 関節滲出液貯留 下腿 |
| M2576 | 骨棘 下腿 |
| M2586 | その他明示された関節障害 下腿 |
| M2596 | 関節障害、詳細不明 下腿 |

条件② 条件①の症例のうち、EFファイルに以下のいずれかの手術がある退院症例を抽出する

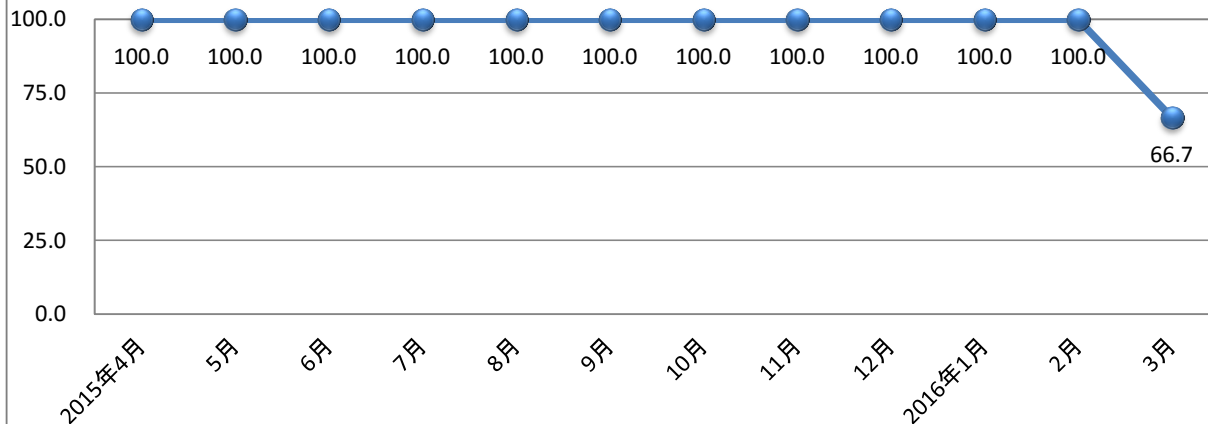
| Kコード | 病名 |
|---------|-------------|
| K0821 | 人工関節置換術(膝) |
| K082-31 | 人工関節再置換術(膝) |

分母

| 年月 | 2015年4月 | 2015年5月 | 2015年6月 | 2015年7月 | 2015年8月 | 2015年9月 | 2015年10月 | 2015年11月 | 2015年12月 | 2016年1月 | 2016年2月 | 2016年3月 | 年間 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|------|
| 分子 | 2 | 5 | 3 | 8 | 5 | 2 | 4 | 3 | 3 | 2 | 5 | 2 | 44 |
| 分母 | 2 | 5 | 3 | 8 | 5 | 2 | 4 | 3 | 3 | 2 | 5 | 3 | 45 |
| 実施率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 66.7 | 97.8 |

(%)

4日以内実施率



<解説>

人工膝関節全置換術後の過度な安静は、廃用症候群を引き起こす原因となります。このため、早期にリハビリテーションを開始し、廃用症候群を予防していくことが重要になります。また、人工膝関節全置換術後、早期にリハビリテーションを開始することで、下肢への静脈うっ滞を減少させ、深部静脈血栓症の発生頻度を低下させることにも繋がります。さらに、早期退院に向けて、早期にリハビリテーションを開始することが求められます。施設の体制によっては、理学療法士または作業療法士による本格的なリハビリテーションの開始日が休日に該当した場合、リハビリテーションの開始日が1日遅れる場合があります。